

研究分野のキーワード：教育工学，コンピュータ利用教育，情報メディアの活用，情報モラル

研究紹介：

皆さんは、「教育工学」ということばを聞いたことがありますか。耳慣れないことばだと思えますが、私の専門は「教育工学」です。「教育工学」とは、工学的技術を用いて教育環境をより良いものにしていこうとする学問です。研究対象は「教育」なのですが、その教育の質を高めるために、工学的技術（最新のテクノロジー）をどのように活用して行くのがよいのかを考えます。ここでいう「最新のテクノロジー」とは、何でしょうか。それは時代とともに変わってきます。例えば、東京オリンピック（第 18 回夏季オリンピック）が開催された 1964 年（昭和 39 年）当時の最新のテクノロジーは、テレビではないでしょうか。テレビの登場により、臨場感のある映像を通じて次々と新しい情報を入手することができるようになりました。このような新しい技術の登場により、我々の生活は豊かなものになっていきます。その新しい技術を教育場面でも活用をして、教育の質を向上させようと考えます。これが教育工学の考え方です。現在、テレビ・ラジオでは、数多くの教育番組が放送され、家庭や学校でも広く視聴されるようになってきました。これにより、教育環境が改善できたといえます。そして、昭和から平成に時代は移り、今日の最新のテクノロジーは、テレビではなく、インターネット、パソコン、携帯電話、タブレット端末、携帯ゲーム機などの情報メディアであるといえます。携帯ゲーム機やインターネットなどを活用して、国語や英語など様々な教科が学習できる教育用ソフトも登場しています。さらに、学校では、電子黒板の活用や教科書の電子化に向けての努力がなされています。このように、教育分野においても、最新のテクノロジーを積極的に受け入れ、教育環境を改善していく努力が常に求められているといえます。

このように、コンピュータやインターネットなどの情報メディアを教育で積極的に利用することは良い面ばかりではありません。「光（良い面）」と「影（悪い面）」の両方が存在することを学習する必要があります。例えば、ネットいじめや学校裏サイト、誹謗中傷の書き込み、ワンクリック詐欺、違法ダウンロードや有害サイトへのアクセスなど、様々な落とし穴があります。このようなトラブルに巻き込まれないために注意すべきことは何かを考え、情報モラルを身につけ情報化社会で生きていくために必要な知識や技能を習得することが今日の教育では求められています。